

RedhatEnterpriseLinux で SymantecEndpointProtection (ウイルスチェック) をご利用の場合、サーバ起動時に必ず、LiveUpdate.conf ファイルの置き換えを実施してください。

- ① セルフポータルにログインし、インスタンス一覧を表示します。



- ② 該当のインスタンスを選択し、「ISO のアタッチ」をクリックします



- ③ ISO のアタッチ画面が表示されるので、プルダウン①より下記 ISO 名を選択し「OK」②をクリックします。

ISO 名 : SAV-LiveUpdate20140902.iso



- ④ 上記③で ISO をアタッチしたインスタンスへログインし、アタッチした ISO を mount します。

例) `mount /dev/cdrom /mnt`

※上記は例であり、/mnt 配下に mount する場合は示しています。

お客様の環境により mount 場所をご指定ください。

- ⑤ 現在「/etc」配下に保存されている、「liveupdate.conf」のファイル名を変更します。

例) `mv /etc/liveupdate.conf /etc/liveupdate.conf.YYYYMMDD`

※1 バックアップのためファイル名を変更します。

※2 YYYYMMDD は実施日の日付で設定します。例) 2014/9/2 → 20140902

- ⑥ 上記④で mount したディレクトリから、「liveupdate.conf」を「/etc」の場所へコピーします。

例) `cp /mnt/liveupdate.conf /etc/liveupdate.conf`

- ⑦ 現在のウイルス定義パターンの確認を行います。

コマンド : `/opt/Symantec/symantec_antivirus/sav info --defs`

※現在の定義ファイルの更新日付が 1 週間前より古いことを確認

- ⑧ 手動で LiveUpdate を実行します。

コマンド : `/opt/Symantec/symantec_antivirus/sav liveupdate --update`

- ⑨ LiveUpdate 手動実行後のウイルス定義パターンを確認します。

コマンド : `/opt/Symantec/symantec_antivirus/sav info --defs`

※定義ファイルの更新日付が直近 1 週間以内となっていること

- ⑩ インスタンスへログインし、アタッチした ISO を umount します。

例) `umount /dev/cdrom`

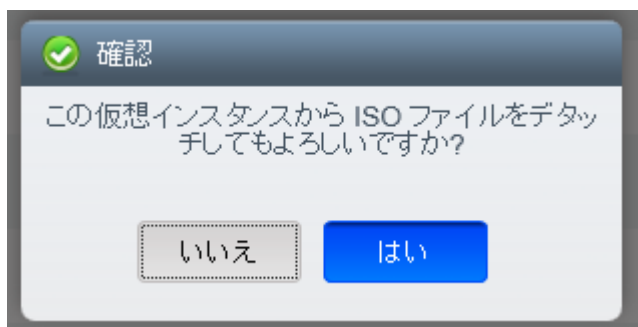
⑪ インスタンス一覧から ISO をデタッチする対象をクリックします。



⑫ インスタンスの詳細が表示されるので、「ISO のデタッチ」をクリックします。



- ⑬ 確認画面が表示さるので、「はい」をクリックします



— 以上 —